

なるの里 だより

2021年 10月

第41号



山崎力子様：100歳



社会福祉法人 なる共生会

特別養護老人ホームなるの里
なるの里短期入所生活介護事業所
デイ・サービスセンター太陽
グループホームなるの里
奈留高齢者生活福祉センターやすらぎ荘

〒853-2204 長崎県五島市奈留町船廻879番地1
TEL 0959(64)4848 / FAX 0959(64)4846
TEL 0959(75)2323 (グループホーム)
TEL 0959(64)2552 (やすらぎ荘)
E-mail : tokunaru@aquarius.interq.or.jp



LINE
QRコード



「エイッ」



福は〜内
鬼は〜外!!

節分

R3.2.3



『年男です』



山崎カチ様、今年二月百歳のお誕生日をお迎えしました。
職員、入居者の皆さんで『金寿』をお祝いしました。



御祝い

R3.2.17

御夫婦仲良く素敵です。



お手玉積み上げゲーム中



ひなまつり

R3.3.3

ふるさと訪問

R3.4

四月十日、十七日と2週にわたり
夏井・大串方面と奈木の方へ
ドライブに出かけました。



“ハイポーズ”



皆さん
御家族と一緒に
とても嬉しそうです☆



兜がお似合い!!
笑顔が素敵です☆



こどもの日

R3.5.5



つわを剥く姿は
皆さん、真剣です。
さすがお上手!!



ある一日

R3.6

レクリエーション大会

R3.6.5

六月五日、レクリエーション大会が行われました。
コロナ禍ということもあり、運動会をレクリエーションという形にし、職員と利用者のもと少し寂しい行事となりましたが、競技を工夫し、笑いあり、とても楽しいレクリエーション大会でした。



準備運動はしっかり 1・2・3・4!!



紅組も青組も エイエイ・オー!!



宮崎さん、頑張れ~!!



負けんぞ ~~~!!



私も引いてみろかね…。



だっもかんも ガンバレ ~~~ ♪



私はうまらしかったい!



あっちに転がったよ…



イス取りゲーム、さあぎばって座るぞ!!



私のイスは誰にも譲らんけんね!



どら、入るっぞ~!!



七夕

R3.7.7

皆で折り紙を使って
七夕飾りを作りました。
皆さん、思い思いに短冊に
願い事を書きました。



夏祭りも同様、お楽しみ会とい
う形にし、盛大ではないものの
職員の手作りアイスクリームを
召し上がりながらゲームやカラ
オケ等楽しみました。

お楽しみ会

R3.8.8



思ふおもひがふて

★小田安男様（令和三年一月二十一日永眠）97歳

ネコのホールでテレビを観ながらコーヒーを飲んでいましたね。ジェスチャーで物事を伝えようとし、徐々に伝えたい事がわかるようになり親近感が湧きました。

★宿輪玉子様（令和三年二月二十四日永眠）86歳

車椅子を自力で漕がれていた姿が印象的でした。食堂では「善二をお願いします。」と、兄のことを気にかけて優しい宿輪さんの顔が浮かびます。

★平山昭啓様（令和三年二月二十八日永眠）92歳

まじめで几帳面な性格で何をするにしてもきちんとしていましたね。娘さんやお孫さんの話をされている時の素敵な笑顔が印象的でした。

★赤瀬健二様（令和三年三月十九日永眠）89歳

正式入所されて約一ヶ月半という短い期間でしたが何でも自分でしようとする姿にいつも感心させられました。カン口飴が大好きでしたね。

★野茂ヒサエ様（令和三年四月四日永眠）90歳

熱いお茶が大好きで持つて行くと『ありがとう』と満面の笑を浮かべて、手を合わせていた姿が思い出されます。ニコニコ優しい笑顔にいつも癒されました。

★濱村コマ様（令和三年四月五日永眠）99歳

『かごの鳥』と一緒に沢山歌いましたね。明日が百歳の誕生日という日に人生の幕を降ろされ、一緒にハッピーバースデーの歌を歌いたかったです。

★北川トヨ様（令和三年五月三十日永眠）99歳

何でもご自分でしようとされ、いつも「すまんね。ありがとう！」とおっしゃっていました。息子さんや娘さんお孫さんが来られた時の本当に嬉しそうな笑顔が今でも忘れられません。

★笠松アヤノ様（令和三年六月十八日永眠）86歳

「おはようございます。笠松さん〇〇しますね」声をかけると顔を縦に振り傾かれ優しい笑顔を見せて下さいました。その笑顔は笠松さんの温かい人柄を感じるものでした。

★平山ミツエ様（令和三年七月八日永眠）97歳

とても足腰が強く、背筋を伸ばし、「ジャキジャキ」と歩いている姿を今でも忘れません。運動会で選手宣誓をスラスラと読んでいらしたのもつい最近のようです。

★葛島ツヨ子様（令和三年八月七日永眠）91歳

謙虚なキリスト教徒で元気な頃いつも御ミサに行かれていた姿が目には焼きついています。長いお祈りの言葉を「スラスラ」と口にされる姿がとても素敵でした。

★城山イセ様（令和三年九月七日永眠）93歳

初めは御主人と一緒にデイサービスを利用され、後奥様、暫くし御主人も特養へ入所されました。お二人仲が良く、いつも一緒に並んで座っている姿にほっこりした気持ちでした。

★城田リエ様（令和三年九月十七日永眠）98歳

いつも整理整頓がかさず、身の回りの事や毎回お部屋から出られる時はきちんと髪をとき身なりを気にかけていた城田さん「姉ちゃんありがとう」と笑顔が印象的でした。

研修に参加して「オンライン」

認知症高齢者の食と

口腔ケア研修会に参加して

特養介護職 岩村 美鈴

私は、七月六日、十三日に浜村看護主任、グループホームの橋本さんと一緒に、オンライン研修会に参加させて頂きました。

私が今回の研修に参加して、強く心に残ったことは、「NO FOOD, is not NO CARE」～快適な食事だけでいい～ということです。これは認知症最重度の妻について、主治医が夫に説明した内容です。

「この考えのゴールは奥さんの快適さと、誤嚥や窒息などの不快なことをなるべく生じさせないように口から食べることを守ることに焦点を当てています。もし経口摂取が不快なことを起こすのであれば、介助者はすぐに食事介助をやめます。おそらく時間とともに奥さんの食べる能力は衰えていきます。これは自然な経過です。しかしながら重要なのはあなたにとって、この考え方が体重減少を阻止できなかったとしても奥さんにとって一番快適な方法であると理解して頂くことです」

食事介助をしている時、スムーズに食べて頂ける時は良いのですが、摂取量が減ったり「いらない」と食事を摂られなくなった時、正直焦りを感じてしまいます。食べて頂かないと体力が落ちてしまうと。ですが「食べる能力が衰えていくのは自然の経過」という言葉は、今更のよう

に私の中に入ってきました。

食べなくなってきた方の中には、口の中のトラブル、入れ歯が合わない、口内炎ができて痛くて食べられない、虫歯が痛いという方もいらっしゃいます。

食べない原因が何であるのか、観察しながら他の職種の方と連携しながら、快適な食事を少しでも長く摂って頂けるように支援させて頂きたいと思っています。

又、食べて頂く為には、口腔ケアは大事なことです、食べられなく

ても、口腔内には細菌が増えるのでケアが必要です。

それはお別れの時、細菌の多い口腔や鼻腔から腐敗が進み臭気が生じる。口腔ケアが十分されていたご遺体では臭気が生じにくい。口腔ケアは尊厳を保つケアの一つと話されていました。

口の中に指を入れられるのは誰でもイヤなことです。ですが、きれいなお姿でお別れをして頂けるよう、最後まで心を込めて口腔ケアをさせて頂こうと思えた研修会でした。

介護職に必要な高齢者の医療職と

医療職への伝え方研修会に参加して

特養介護職 大小田 美香

介護職は、利用者のいちばん近くに寄り添い、生活を支え、その人らしい生き方の支援をし、生きがいになることをサポートすることが大事な役割ではありますが、健康を守る役割もあります。

近年、入院期間の短縮、在宅医療、介護現場に糖尿病、高血圧、ガンなどの病気をもった医療依存度の高い高齢者が増加していること、介護現場では看護師が少なく、医療を必要とする利用者が介護現場に移行されてきているため、生活を支えるための医療的視点が介護職にも求められてきており、介護職が医療行為の一旦を担う時代になっていると話されていました。

高齢者は加齢や疾病によりさまざまな機能が低下します。病気にかかりやすく、免疫力が低下し、感染症にかかりやすい、又、外部環境や体内での変化に対して体内の状態を元に戻そうとする機能「ホメオスタシス」により、生命や健康が維持されていますが、加齢により、身体を一定に保つのが難しくなり、健康障害のリスクも高くなります。

複数の病気をもっている、症状が非定型である。高齢者の場合、医学書にある典型的な症状がはっきりと現れないことがあり、疾病の発見が遅れることもあります。

治療中の病気と関係のない病気を起こす、個人差が大きい、治りきら

ず慢性化するといった高齢者の身体、病気の特徴です。

高齢者に起こりやすい疾患、症状について、観察ポイントとなぜその観察が重要なのかについて学びました。

介護職の観察によって早期発見、早期治療にむすびつくことが多いため、「いつもと違う」に気づく観察力が必要だと話されていました。

最後に「医療に強くなる」とは、経験で得たものを知識に統合させていくこと。わからないことは調べる。調べてわからないことは医療職に聞く勇気をもって下さいとのことでした。

医療職との連携がスムーズになり、利用者への利益につながります。と話されていました。

研修に参加させていただき、医療知識を身につけることの大切さを改めて感じ、医療知識の習得に努め、研修で学んだことを仕事にいかせていきたいと思います。

夜勤のリスクマネジメント研修会

特養介護職 葛島 章 仁

私は夜勤のリスクマネジメント研修会に参加させて頂きました。

夜勤は日勤に比べ職員の数も少なく様々なリスクがあります。

例えば、コール対応や転倒、急変時の対応などで利用者の方の命にも繋がります。

理由者の健康と安全を守るため、自分自身の健康管理、職員同士の正しい情報の共有、日勤帯からのしっかりとした準備などのリスクマネジメントは欠かせないことなのです。

私があるの里に入社してから初めて夜勤を行った時は不安と緊張でいっぱい、その時は先輩職員の方々に助けて頂きながら何とか夜勤を行いました。

それから何度も夜勤を経験し、自信を持って業務に入れるようになってきたと思いましたが、今回の研修会に参加させて頂いたことでまだまだ夜勤について学ぶことがあると感じました。

この研修会で学んだことを活かし、もう一度夜勤について考え、利用者の健康と安全を守る介護職員を目指して日々努めていきます。

認知症ケアの基本研修に参加して

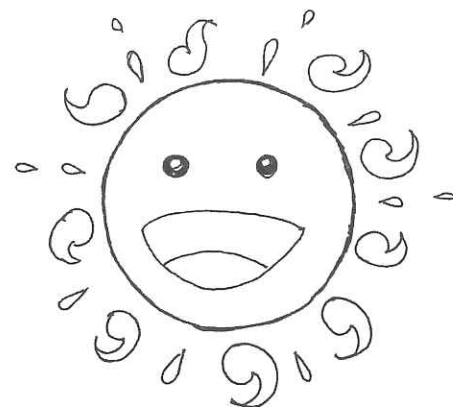
特養介護職 葛島 志 苑

私は、七月十五日、二十九日に行われた認知症ケアの基本研修会に参加しました。この研修会で、認知症に対する理解を深めること、認知症の方に対するケアのしかたを学ぶことができました。講師は、市村幸美氏でした。一日目は、認知症の種類、特徴、認知症のタイプによって、障害のする脳の部位を学びました。私は、認知症のタイプによって、障害がでる部位が違うことを知りませんでした。種類や特徴などは、聞いたことがあっても、脳に障害ができる部位があるということを知りませんでした。又、認知症の種類によって、進行度にも違いがあるということを知りました。

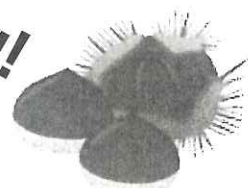
二日目は、よくある場合での言葉かけ、接し方のコツ、利用者家族との上手な接し方を学びました。私自身も、ご飯を食べたことを忘れた方の対応に困ったことがあります。そのような時は、違うことに意識を向けさせたり、食べ物を提供したり、他の職種との連携を図るといった講師の方がおっしゃっていました。又、講師も、正解はないので、いろいろな対応をして、情報を共有していくことが、いいケアにつながるとおっしゃっていました。家族との上手な接し方は、介護家族のたどる4つの心理ステップや、家族と認知症の方の思いが違うことを学びました。同じ要望でも家族によっては、言葉の真意が違うこともありえます。又、家族とのトラブルを回避するために、できること、できないこととの両方をきちんと伝えることも大切だということも学びました。

私は今回の研修を通して、認知症の方をケアするうえで、学んだことをしっかりと活かし、今後のケアに励んでいきたいと思っています。

デイサービス 太陽



夏も終わりに近づき、2年目のコロナ禍の中
ふくれもち作りに奮闘しました!!



①



これぐらいの大きさでいいかな～
三人娘さんあんこをまるめて
います。ファイト!!



③



～ふっくら膨らみますように～
♪ 協力して頑張り♪

②



昔の事思い出しながら
力いっぱいこねています



④



分量はこれぐらいかな?
そうね～よかごとあつよ

⑨

①



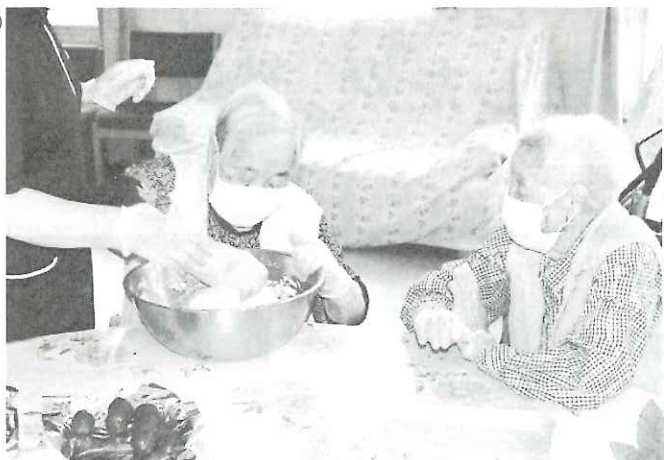
あらら～やわらか～い…フッフ!!

⑤



私もこねさせてもらおうかな?

②



私にもこねこねさせて!!

⑥



動かんごと。初めてするけんわからんよ～

③



さすが気合いが入ってますネ!!

⑦



やはり、みなさん手際が良いですね～

④



⑧



完成!!できあがり楽しみ～

⑩



プチメロンパンクッキー講座

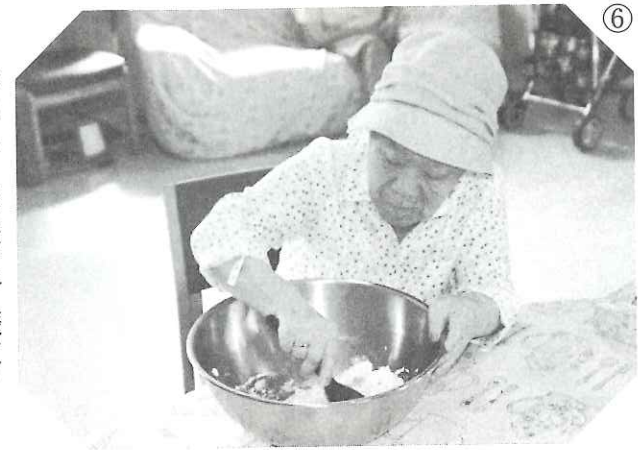


ハイノ材料は
こちらになります！



私ね、玉子を混ぜてるのよ

おいしく出来ます様に！



その玉子を粉と混ぜます！
ソロリ・ソロリ

この位の大きさが良いかな！



うわあ〜♪ 本当、可愛いーメロンパン！！



良い笑顔です。



美味しそうー・いただきま〜す“笑”

俳句

お題

夏／＼秋

▼梅雨明けて

山一面にせみの声

▼陽はのぼり

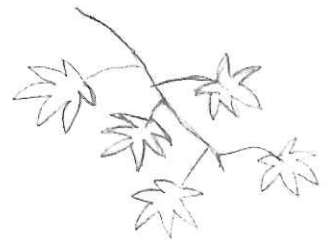
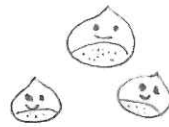
匂ひ気高き沈丁花

▼秋半ば

棚田にきらめく稲穂かな

▼落ち葉散り

去りゆく秋を惜しむかな



高齢者生活福祉センター

やすらぎ荘

9月に入り、新たに男性三名・女性一名の方が入居され十名となりました。

皆様が、日々安心した生活が送れます様援助員一同支援して行きたいと思えます。



★和室にビリヤード台を設置しました!!

機会があったら、ビリヤードをして

楽しみませんか!?

グループホームなるの里



レクリエーション大会



整理運動の
「かぞえ唄体操」
を手本となり、
頑張りました!!



物送りハレーなどの
競技へ参加し、
白熱した戦いが行わ
れました!!笑顔が多
く見られた1日でし
た😊



日々の暮らし

「ああ、アイスの
美味しかあー」
あんたももろて
食べんね!!



昼ご飯は鯉の刺身ぞ!!
脂ののこつんまかぞ!!



今日のおやつは手作りのホットケーキ



夏の素麺は美味しいね
とんどん流して!!



美味しくて物も言われんですよ~!!



花まつりに参加して1曲披露しました♪



可愛い鬼ばかり
似合ってます♡



ひ孫に会えたよ! 可愛くて可愛くてたまらん♡



皆さんが健康で
幸せに過ごせますよ
うにと思いを入れて
悪いもの(鬼)を追い
払い、良いもの(福)
を呼び込むために
豆まきをしました。



「鬼は外~!! 福は内~!!」



誕生日をみんなでお祝いしました。グループホームの現在の平均年齢は90.6歳です。これからも健康で笑顔の絶えない日々と一緒に過ごしていきましょう!! 長生きして下さいネ!!



グループホームの夜間想定で消防訓練を行いました。真剣に取り組みました。

研修に参加して

介護職に必要な高齢者の医療知識と
医療職への伝え方研修会に参加して

介護主任 浜村 絵里香

介護現場では介護職だけでなく様々な職種が日々協力し合いながら業務を進めています。ですが立場や視点が違えば意見の相違も起きやすく現場ではよく看護職と介護職の連携がうまくいかないといったことが多いようです。グループホームには常時看護師がいるわけではなく特養の際には特養の看護師に申し送りを行い対応して頂いている状態です。何かあった時の判断力と看護師に伝える為の医療知識が必要なのは日々感じています。利用者様の小さな変化にも気付く迅速に対応をする為にも医療知識は不可欠です。医療に強くなる事で看護職との連携もスムーズになりサービスの質の向上にもつながっていくと思います。また良好な関係作りには互いの仕事を知り、互いに命を支えるプロ同士認め合い尊敬し合うことが大切だということを改めて感じました。「生命の援助」を行っていく為にもお互いの視点を尊重し合い利用者様にとって良い結論が導き出せる様努めていきたいと思っています。

認知症ケアの基本研修に参加して

介護職 三宅 朝風

私は令和3年7月15日・27日にオンラインにて行われた「認知症ケアの基本研修会」に参加させて頂きました。認知症ケアには正解がありません。又、それは長期戦であり、ケアする側（介護士）が疲弊しないために、感情を安定させ、客観性を保ち、心にゆとりを持つことが大切です。認知症には大きく4種類あり、それぞれ症状も異なります。それらをしっかりと把握し、症状と、ご本人の性格を見極めながら、適切な対応をしていくことが大切だと思います。冒頭で「認知症ケアには正解がない」と書きましたが、その人が人生を迎える時、「幸せだった」と思ってもらいたいのであれば、私たちの介護はその人にとって正解なのではないかと思うのです。

私はこれから介護や認知症について沢山のことを学ぶ必要があります。今回の研修で学んだこと、これから学んでいくことをしっかりと身につけていこうと思います。奈留島のお年寄りが奈留島で最高の人生を過ごせるように。



コスモス会ボランティアの皆さま、
25年間縫い物の
ボランティアあり
がとうございました。
ご利用者も職員も大変助かりました。



ぜひまた遊びに来て
ください。

職員一同 



編集後記

猛暑！大雨！台風！コロナウイルス！毎日何が起こるかわからない今の現状を、ただ、ただ全て受け入れ、マイナスをプラスにかえられるように、日々の生活の中で明るく、利用者と共に暮らしています。

そんな中、介護職が毎月せっせと作って、お部屋の入り口に飾られているお花達です。